

【バレエ第一部 予選講評】

- 皆さんよく練習の成果を発揮されました。技術的には相当のレベル。あとは、音楽性、そして役や作品の意味の表現、さらに個性のアピールが欲しい方も。とくに男性に一言、回ったり跳んだりのすごさには脱帽ですが、バレエはあくまで「ダンス」であり、「身体表現」であることを忘れずに。
- 久しぶりに予選をやらせてもらい、大変皆様すばらしい芸術をお届け下さって嬉しいかぎりです！本日の表現はすさまじい情勢と尊いいのちの一瞬一瞬をささげた観るものの魂をふるわす、たくさんの人間精神の美しさの一時一時を味わわせていただいたような、すこぶる良い時間でした。これからも更に”人間に示す”のではなく、”天に示すようおどれ”と芸術人生を歩んで下さい！東京新聞のこの大事なコンクールに長い間学ばせていただいております、どれだけの人々が人間の感動と生きる喜びをいただけてきたでしょう。ほんとうにありがとうございます！
- 技術をもって役柄を音楽と共に踊っていらっしゃる方が増えて、とてもうれしく思っています。
- 上体を使わずに足だけで踊っている人が気になりました。表面で踊るのではなく、体の中から踊ること、レッスンすることが大切です。全身を使えることで表現にもつながり、踊りが大きくなると思います。体の中からアンドゥオールして踊って欲しいと思いました。
- テクニックや身体能力の高さは皆さん高いレベルに見えましたが、やはりクラシックバレエなので、キャラクターの演じ方や表現方法にももっと工夫やバリエーションが欲しかったです。
- 大人なので見る目は厳しくなりますが、全体的に舞台の場取りが気になりました。前に出すぎたり、左・右平均的に舞台を使えていなかったり、やはり大事だと思えます。足さばきやポジションは良くとれていると思いました。お芝居が必要な踊りはもっと自然な演技が目指せるとシンプルに美しいと思います。やりすぎは踊りを壊してしまいますので、皆さんこれからもがんばって欲しいと思いました。

- 全体的には難しいヴァリエーションにも積極的に取り組んで、しっかり踊っている方が多かったです。女性はポアントの立ち方、男性は上半身の使い方を見直すともっと良くなるように感じました。
- バレエ第一部、すぐにも公演、いろいろな作品を踊ることができる方々ですね。作品ひとつひとつの考えを学び、気持ちも入れられると良いかと感じました。テクニックはみなさん良く訓練されていると感じましたので、日頃から「感じる」という事を学んでいただきたいとおもいました。
- 皆様、よく踊られていました。この部門はテクニックはもちろんですが、やはり音楽、その踊りにあった空気感などがあわさった時に、とてもステキな空間になると思います。もう一度、自分の踊りをよりよくするために思い起こしてほしいと思いました。楽しみにしています。ありがとうございました。
- レベルが大変高くなり、男性舞踊手が多くて嬉しかったです。ヴァリエーションは全幕の中のどういう場面で踊られているのかも良く勉強してほしいと思います。